

Level1

ビールに関連すると考えられる 5 つの要素からなる 150 のデータセットを用いて、3 つのクラスに分ける。要素は具体的に、Brew NO., OG, ABV, pH, IBU の 5 つであり、クラスは IPA, Light Lager, Premium Lager の 3 つに分類される。要素の 1 つである、Brew No. はバッチ番号に当たるため、考慮せずに残りの 4 要素でクラス分けをおこなう。

登録日: 03/16/2022

URL: <https://www.kaggle.com/datasets/ankurnapa/ankurs-beer-data-set>

Level2

サンプル数 : 150

特徴ベクトルの次元数 : 4

各特徴の説明とデータ形式

OG - 発酵前に麦汁に含まれる発酵可能な砂糖の量を指す

ABV - 包装前の最終ビールの体積によるアルコールの値。

pH - 包装前のビールの pH の値。

IBU - 国際苦味単位

データ形式は全ての要素において、数値データ(量的変数)である。

分類クラス数 : 3

クラスの説明

IPA - ビールの原材料の 1 つであるホップを大量に使用されて作られるビール。

Light Lager - 通曉のビールに比べてアルコール含有量やカロリーが低いビール。

Premium Lager - アルコール含有量に基づいてプレミアムを定義している。プレミアムラガーは ABV の値が 4.5% 以上のものとする。(一般的なビール業界ではこのアイディアは採択されていない)